


(様式例第11)

宮江発事第 0930001 号
令和 4 年 9 月 30 日

宮崎県知事 殿


住 所 宮崎県宮崎市大坪西1丁目2番1号
申請者 独立行政法人地域医療機能推進機構
宮崎江南病院
氏 名 病院長 

独立行政法人地域医療機能推進機構宮崎江南病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒108-0075 東京都港区高輪3丁目22番12号 /
氏名	独立行政法人地域医療機能推進機構 理事長 

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人地域医療機能推進機構 宮崎江南病院

3 所在の場所

〒880-8585 / 宮崎県宮崎市大坪西1丁目2番1号 /	電話 (0985) 51-7575 /
--------------------------------	-----------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	269床	269床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 気管内挿管セット、心電計、ポータブルX線撮影装置、人工呼吸器、パルスオキシメーター、精密持続点滴用シリンジポンプ、心電図モニター、酸素供給装置 ほか 病床数 11 床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析機、メディカルフリーザー、全自動血液凝固測定装置、輸血用遠心器、多項目自動血球分析装置、全自動血糖測定器、中央実験台、生物顕微鏡、恒温槽、血液ガス分析装置、全自動化学発光酵素免疫分析器、ほか
細菌検査室	(主な設備) 生物顕微鏡、孵卵器、遠心機、薬用冷蔵ショーケース、ユニット実験台、卓上屋外廃棄型安全キャビネット、オートクレーブ ほか
病理検査室	(主な設備) 顕微鏡デジタルカメラ、パラフィンブロック作成装置、パラフィン伸展器、パラフィン融解器、密閉式自動固定包埋装置、生物顕微鏡、クリオスタット、マイクローム、SL医学写真撮影装置、自動細胞収集装置、自動染色機、中央実験台、超低温フリーザー、全自動分析天秤、病理支援システム ほか
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、電動式解剖器具一式、デジタル電子天秤、遺体保存用冷蔵装置ほか
研究室	(主な設備) OAデスク、書架、HISシステム、電子カルテシステム ほか
講義室	室数 3 室 収容定員 150人
図書室	室数 1 室 蔵書数 1,000冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	調剤室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	77.2%	算定 期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	74.1%		
算出 根拠	A : 紹介患者の数		6,270人
	B : 初診患者の数		8,122人
	C : 逆紹介患者の数		6,020人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常 非	別添	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	10床
専用病床	床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	内科
2	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	内科
3	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	内科
4	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	内科
5	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	内科
6	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	内科
7	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	内科
8	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	内科
9	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	内科
10	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	内科
11	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	外科
12	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週31.00時間	外科
13	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	外科
14	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	整形外科
15	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	整形外科
16	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	整形外科
17	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	整形外科
18	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	形成外科
19	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	形成外科
20	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	週38.75時間	形成外科

21	醫師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	形成外科
22	醫師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	形成外科
23	醫師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	放射線科
24	醫師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	放射線科
25	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
26	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
27	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
28	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
29	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
30	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
31	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
32	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
33	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
34	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
35	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
36	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
37	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
38	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
39	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
40	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
41	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	
42	看護師		常勤 非常勤	專從 非專從	週38.75時間	

43	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
44	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
45	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
46	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
47	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
48	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
49	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
50	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
51	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
52	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
53	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
54	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
55	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
56	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
57	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
58	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
59	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
60	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
61	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
62	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
63	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	

64	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
65	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
66	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
67	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
68	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週19.00時間	
69	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週30.00時間	
70	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週30.00時間	
71	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週30.00時間	
72	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週30.00時間	
73	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週19.00時間	
74	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週30.00時間	
75	看護師		常勤 非常勤	専従 非専従	週38.75時間	
76			常勤 非常勤	専従 非専従		
77			常勤 非常勤	専従 非専従		
78			常勤 非常勤	専従 非専従		
79			常勤 非常勤	専従 非専従		
80			常勤 非常勤	専従 非専従		
81			常勤 非常勤	専従 非専従		
82			常勤 非常勤	専従 非専従		
83			常勤 非常勤	専従 非専従		
84			常勤 非常勤	専従 非専従		

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急室	39.0㎡	(主な設備) 診察台、無影灯、除細動器、精密持続点滴用シリンジポンプ、気管内挿管セット、HISシステム ほか	可
検査室	270.6㎡	(主な設備) 超音波検査装置、心臓超音波装置、心電図計、生化学自動分析器、血液ガス自動分析器、HISシステム ほか	可
放射線施設	500.1㎡	(主な設備) MRI (1.5T、3.0T)、マルチスライスCT (80列)、血管造影装置、ガンマカメラ、HISシステム ほか	可
内視鏡室	170.0㎡	(主な設備) 上部下部内視鏡、気管支内視鏡、HISシステム ほか	可
手術室	1,260.0㎡	(主な設備) 手術台、無影灯、全身麻酔器、イメージングCアーム、手術用腹腔胸腔鏡、マイクロサージェリー、デジタルタニケット、高輝度光源装置、手術用各種器具 ほか	可

4 備考

--

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	(548人 366人)
上記以外の救急患者の数	(2,195人 378人)
合計	(2,744人 756人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

宮崎江南病院の救急車受入状況について

救急医療を提供する能力を有することの要件として、救急自動車により搬送された患者数は、1,000件または二次医療圏人口の0.2%以上（宮崎東諸県医療圏人口の0.2%=858件以上）とするところですが、手術中、緊急透析等により救急要請に応需できなかったケースがあり、令和3年度救急自動車受入状況は548件（うち、入院366件）でした。

令和3年度の手術件数は1,560件で、うち127件（8.14%）が緊急手術でした。また、整形外科においては手術件数の著明な増加（2018年度427件、2019年度458件、2020年度476件、2021年度516件）により予定手術の計画にも困難を来し、早期の手術を要する患者の受入に難渋するケースもありました。また、手術中や緊急透析または病床が満床である等のため一時的に受入を制限することがあり、応需できないケースがありました。

当院では夜間休日は当直医並びに当番医（オンコール）により24時間体制で救急搬送患者を受入れており、令和3年度は後方支援病院として、154の登録医療機関等からの救急患者を868件受入れました。特に透析の救急搬送患者や四肢手指切断等の形成外科の救急搬送患者、宮崎大学医学部附属病院からのDrヘリの救急搬送患者等の積極的な受入を行っております。また、市郡医師会の内科輪番制、吐血・下血輪番制にも参加しており、令和3年度までに累計30件の吐下血救急搬送患者を受入れ、緊急で内視鏡検査等を実施しました。

救急車受入れ状況は、感染拡大前の平成31年度489件から年ごとにわずかながら増加し、令和3年度は548件としております。平成22年度から令和3年度までの12年間の推移として、救急自動車受入数は確実に増加しており、令和4年度以降はさらに積極的な受入を行っております。救急患者応需に関する議論や、病院の将来構想に係る院内のプロジェクトチーム（「前方連携推進プロジェクトチーム」→令和4年度より「将来構想委員会」に名称変更）により、診療科別の年間救急車受入数目標の設定や、個々の応需状況に関するケースワークを行うなど、要件達成へ向けて体制を強化する取り組みを行っております。

新型コロナウイルスへの対応としても、感染症病床を5床から令和3年11月には8床に増床し、積極的な陽性患者の受入れを行い、実患者数75名、延べ患者数393名の入院治療を行いました。直近では、新型コロナウイルス感染が疑われる発熱患者救急受入輪番にも参加し、毎週木曜日の発熱急患受入体制を敷いております。ワクチン予防接種においては令和3年度の実績として10,262件の接種を行ってきました。今後も新型コロナウイルス感染終息に向けて、関係各所とも連携を保ちながら感染拡大防止に係る積極的な対応を目指していく所存です。

その他、人工透析においては宮崎市南部における拠点病院としての役割を担っており、形成外科においては宮崎県内唯一の形成外科認定施設として、四肢手指切断等の緊急手術を含めて令和3年度は710件（緊急手術66件）の手術実績があります。令和2年度以降は救急認定看護師の配置も行い、宮崎県の救急医療の質の向上に努めております。

今後も引き続き、地域医療支援病院として地域の救急医療の提供に貢献していきますので、ご高配の程よろしくご厚意申し上げます。

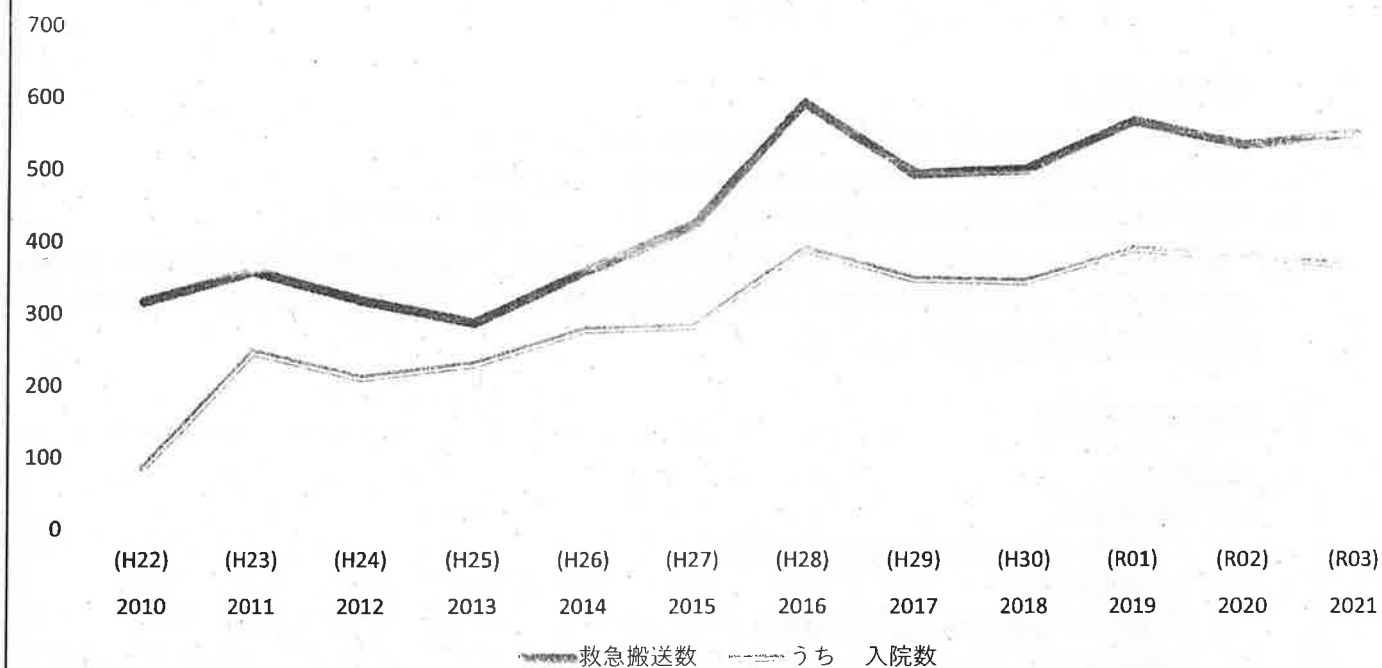
令和4年9月30日

独立行政法人地域医療機能推進機構 宮崎江南病院

病院長



救急車受入数推移



年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R01)	(R02)	(R03)
救急搬送数	315	358	317	286	358	423	591	492	498	565	532	548
うち入院数	85	246	210	229	277	282	389	347	343	388	376	366

2021年度 新型コロナウイルスワクチン接種実績 (件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
接種数	244	66	1,331	1,900	1,405	1,245	1,345	238	428	148	821	1,091	10,262

2021年度 COVID-19陽性者入院実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実数	1	3	3	1	6	3	0	0	0	17	22	19	75
延数	1	57	14	10	50	40	0	0	0	73	95	53	393

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

- 1) 令和3年度に機器の共同利用を行った医療機関の延数 : 3,159件
 2) 1のうち、開設者と直接関係のない医療機関の延数 : 3,159件
 3) 令和3年度共同利用に係る病床数及び利用率 : 10床 (64.3%)

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

1) 病院構造物

① 建物構築物

- ・ 会議室 (大会議室、講義室兼会議室)
- ・ 登録医師室
- ・ 病室 (一般多床室、集中治療室)
- ・ 救急室

② 各種放射線検査装置

- ・ 80列マルチスライス全身用CT撮影装置
- ・ 1.5テスラMRI
- ・ 3.0テスラMRI
- ・ 血管造影検査装置
- ・ ガンマカメラ

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名 : XXXXXXXXXX

職 種 : 医療社会福祉専門員 (社会福祉士)

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別 添				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数

10床

地域医療支援病院 JCHO宮崎江南病院 登録医

医療機関名	氏名	所在地
アイレHDクリニック	先生	宮崎市大字新名爪195
あかえ整形外科医院	先生	宮崎市大字恒久草葉930-1
あきづきクリニックMJ	先生	宮崎市宮崎駅東1-7-8
あけぼの診療所	先生	宮崎市田野町あけぼの2丁目5-1
麻生整形外科クリニック	先生	宮崎市高岡町大字内山3127
あそう内科医院	先生	宮崎市吉村町天神前143-2
ありかわクリニック	先生	宮崎市大坪町西六月2210番地1
阿南内科医院	先生	宮崎市清水3丁目2番50号
いき形成外科ひふ科クリニック	先生	都城市年見町24号5番地
いきめ大腸・肛門外科内科	先生 先生	宮崎市大字浮田3099番地1
生目台カリヨンクリニック	先生	宮崎市生目台東4-6-1
池田台クリニック	先生	宮崎市清武町大字加納甲1335-1
石川クリニック	先生	宮崎市花ヶ島町入道2197-1
いしだ整形外科	先生	宮崎市大島町1444番地
市来内科・外科医院	先生 先生	宮崎市和知川原2丁目14番地2
井手医院	先生	宮崎市まなび野2丁目39-1
いといクリニック	先生	宮崎市郡司分甲1069番地1
稲倉医院	先生	宮崎市大塚町馬場崎3554-2
いのうえ皮膚科	先生	宮崎市大工1-10-28 ひむかワールドビル2F
猪島医院	先生	宮崎市大塚町馬場崎3526-2
海老原クリニック	先生	宮崎市丸島町2-26
海老原病院	先生 先生	国富町大字本庄4365
大江整形外科病院	先生	宮崎市大橋1丁目94-1
大塚病院	先生	西都市御舟町2丁目45
オーシャンクリニック	先生	宮崎市大島町前田310-1
岡田整形外科	先生	宮崎市大字浮田3313番地1
岡本整形外科	先生	宮崎市生目台東4丁目18-4
おかどめ内科・外科	先生	宮崎市中津瀬町12-2
岡野歯科医院	先生	宮崎市大坪西1丁目1番67号
奥循環器科・内科	先生	宮崎市大塚町宮田2936-1
押川整形外科医院	先生 先生	宮崎市和知川原1丁目64番地3
落合内科	先生	宮崎市大淀3丁目1-35
影山内科医院	先生	宮崎市鶴島2丁目17番22号
加納中央医院	先生	宮崎市清武町大字加納甲1911-2
かみぞの整形外科	先生	宮崎市花山手西1丁目6-6
亀山記念クリニック	先生	宮崎市大字熊野1-1
川越整形外科医院	先生	宮崎市大塚町大迫南平4446
川名クリニック	先生	宮崎市本郷北方字高山2520-43
かわごえ内科クリニック	先生	宮崎市宮崎駅東2丁目3-6 KCビル1階
かわの内科クリニック	先生	宮崎市天満3丁目1番地8
かわはら整形外科リハビリテーションクリニック	先生	宮崎市清武町加納4丁目20番地
かんべ胃腸科内科	先生	宮崎市橋通東4丁目3-21
きくち皮膚科泌尿器科クリニック	先生	宮崎市中村東2丁目1番29号
木佐貫内科医院	先生	宮崎市千草町13番5号
喜島クリニック	先生	宮崎市江平西1丁目4-19
北村内科胃腸科医院	先生	宮崎市田野町乙9353-1
矯正・小児ひまわり歯科	先生	宮崎市大塚台東1丁目32-9
清武耳鼻咽喉科	先生	宮崎市清武町大字今泉甲36-15
きよたけクリニック	先生	宮崎市清武町西新町12番地5

地域医療支援病院 JCHO宮崎江南病院 登録医

医療機関名	氏名	所在地
クリニックうしたに	先生	宮崎市恒久5065
くろき整形外科	先生	宮崎市谷川1丁目7-18
くるみ皮膚科	先生	宮崎市大字恒久5980
くわばら医院	先生	宮崎市高洲町244番地77
小池レディースクリニック	先生	宮崎市清武町大字船引633-5
江南まつもと整形外科	先生	宮崎市恒久5980-1
こごうメンタルクリニック	先生	宮崎市中村西3丁目2-33
こころとからだ診療所	先生	宮崎市中村東1丁目7番地1
小島医院	先生	宮崎市権現町79-1
児玉胃腸科外科	先生	宮崎市高岡町大字花見944-3
こぶしクリニック	先生	宮崎市北川内町乱橋3628-3
駒柵脳神経外科	先生	宮崎市恒久5丁目11番地1
小緑内科クリニック	先生	宮崎市大字熊野485-1
小村医院	先生	宮崎市田野町乙7216-2
こむら内科医院	先生	宮崎市高岡町下倉永400
近藤クリニック	先生	宮崎市大字田吉820-1
こんどう形成外科	先生	宮崎市城ヶ崎4丁目8番17号
坂本医院	先生	宮崎市清武町大字今泉甲7020-7
坂本整形外科	先生	宮崎市清武町岡1丁目14番地10
作整形外科	先生	宮崎市大島町国草158-2
ささきクリニック	先生	宮崎市大塚町無量寺道下41番地1
ささき内科	先生	宮崎市大淀4丁目2番10号
さわの内科クリニック	先生	宮崎市大字小松2842-2
しおもりクリニック	先生	宮崎市清武町池田台北34-40
四季クリニック	先生	宮崎市大字金崎字大迫1455-1
杉澤胃腸科内科	先生	宮崎市城ヶ崎4丁目6番7号
杉本外科胃腸科医院	先生	宮崎市谷川1丁目7-6
せき診療所内科呼吸器科	先生	宮崎市大塚台西1-1-44
たかむら小児クリニック	先生	宮崎市大坪町西六月2207-1
大工町すぎえ腎泌尿器科・内科	先生	宮崎市大工1-10-28 ひむかワールドビル2F
滝口内科医院	先生	宮崎市本郷南方2102
橋クリニック	先生	宮崎市橋通東3丁目1番5号 第2フジビル3階
辰元病院	先生	宮崎市高岡町飯田2089番地1
田中外科内科医院	先生	東諸県郡国富町大字本庄1946
田中内科クリニック	先生	宮崎市東大淀2丁目3番45
谷口整形外科	先生	宮崎市丸山1丁目21
谷村整形外科医院	先生	宮崎市城ヶ崎4丁目1-8
たまきクリニック	先生 先生	東諸県郡綾町南俣657-4
ちぐさ東洋クリニック	先生	宮崎市大坪東2丁目19-19
月見が丘クリニック	先生	宮崎市月見が丘2丁目5-1
つまがり整形外科	先生	宮崎市神宮西2丁目77
出水眼科	先生	宮崎市大字恒久6006-1
天満橋中央クリニック	先生	宮崎市松橋2丁目2-1-25
徳田内科とくだ小児科	先生	宮崎市大塚町大塩道下4747
巴外科内科	先生	宮崎市大字恒久5988
外山内科神経内科医院	先生	宮崎市吉村町境目甲1529番地1
なかしま外科・内科	先生	宮崎市中村東2丁目4-8
ながとも内科医院	先生	宮崎市新別府町藪田161番地1
中山医院	先生	宮崎市霧島4丁目196
名越内科	先生	宮崎市大塚町権現昔779-6
にしぞの内科	先生	宮崎市高岡町大字飯田254

地域医療支援病院 JCHO宮崎江南病院 登録医

医療機関名	氏名	所在地
のぞみ医院	先生	宮崎市本郷南方2541-1
野村循環器内科クリニック	先生	宮崎市恒久5942-1
花山手内科クリニック	先生	宮崎市大坪町大坪4290
原田内科クリニック	先生	宮崎市中村東2丁目7-10
はるやま医院	先生	宮崎市本郷北方2107-1
ひが内科胃腸科	先生	宮崎市大塚町樋ノ口1976番地1
日高医院	先生	宮崎市本郷南方4046-5
ひらかわ整形外科クリニック	先生	宮崎市吉村町長田甲2376
ひろの内科クリニック	先生	宮崎市大字本郷北方山崎3582-1
平部整形外科	先生	宮崎市大字本郷南方2456番地1
福井医院	先生	宮崎市浮田3127
ふくだ泌尿器科	先生	宮崎市吉村町井手ノ中甲816
ふくどめ耳鼻咽喉科クリニック	先生	宮崎市恒久5913番地1
ふくどめクリニック	先生	宮崎市大字郡司分甲1600番地1
ふくもと整形外科	先生	宮崎市本郷南方2546-1
福永内科小児科クリニック	先生	宮崎市太田2丁目1-9
福元医院	先生	宮崎市吉村町北原甲1446番地
ふさやす歯科	先生	宮崎市大坪西2-1-36
フタバ皮膚科形成外科医院	先生	宮崎市大塚町馬場崎3523-1
へパトピア西高台内科	先生	宮崎市北川内町字乱橋3608-11
堀川町山下内科呼吸器科医院	先生	宮崎市堀川町10番地
ほんぶ整形外科	先生	宮崎市大字小松字町屋敷667-1
まえのクリニック	先生	宮崎市天満1丁目1-7
松浦みみ・はな・のどクリニック	先生	宮崎市大字本郷南方2475番地1
まつばし川野整形外科	先生	宮崎市松橋2丁目2-13
まつ婦人科クリニック	先生	宮崎市大字生目215-1
まつもと整形外科	先生	宮崎市田野町甲5814-6
松本内科呼吸器科医院	先生	宮崎市下北方町横小路5928-16
南医院	先生	宮崎市和知川原1丁目33-2
南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	先生	宮崎市大字恒久1383-1
みのだ泌尿器科医院	先生	宮崎市大塚町樋ノ口1885
三原内科	先生	宮崎市源藤町源藤876-1
宮崎中央ふかお透析内科クリニック	先生	宮崎市大工1-10-28 ひむかワールドビル3階
宮崎南じんクリニック	先生	宮崎市大字恒久5743-2
宮崎ホームケアクリニック	先生	宮崎市江平東1丁目1-1 江平ビル2F
宮崎若久病院	先生	宮崎市福島町寺山3147
宮交シティクリニック	先生	宮崎市大淀4丁目6番28号 宮交シティ3F
宮園医院	先生	宮崎市大字浮田3264-9
むらい内科クリニック	先生	宮崎市吉村町嶋田甲730-3
村岡泌尿器科内科	先生	宮崎市清武町大字新町2丁目1-3
盛田内科クリニック	先生	宮崎市西池町1-22
森のクリニック	先生	宮崎市大字芳士2033-1
山内ファミリークリニック	先生	宮崎市大字本郷南方3988
やまもと胃腸科内科	先生	宮崎市太田4丁目1-5-1
ゆげ小児科・弓削整形外科	先生	宮崎市広島1-1-18
ゆげクリニック	先生	宮崎市大島町萩崎537-37
ゆち内科胃腸科クリニック	先生	宮崎市恒久5丁目11-3
よこうち皮ふ科・形成外科	先生	宮崎市大島町原の前1445-69
横田内科	先生	宮崎市花ヶ島町小無田642-1
竜内科クリニック	先生	宮崎市希望ヶ丘1丁目21-16
早稲田クリニック	先生	宮崎市大坪町西六月2197-1
わたなべ循環器内科クリニック	先生	宮崎市清武町岡2丁目9番9号
わたなべ整形外科	先生	宮崎市大字熊野50-1

令和4年3月 現在

登録医療機関数 153施設 登録医数 159名

(様式例第 15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

1) 新型コロナウイルスワクチン接種研修 2) 感染対策に必要な基礎知識 3) ケアマネジメントの展開 4) 糖尿病療養指導士認定試験のための講習会 5) コロナを施設・在宅に持ち込まないために 6) 誤嚥を防ぐ 7) 整形外科医師勉強会「三水会」 ※詳細別紙

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	8回
(2) (1) の合計研修者数	約 700人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有・無

イ 研修委員会設置の有無 有・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
白尾 一定	医師	外科	院長	36年	責任者
	医師	循環器内科	副院長	36年	
	医師	腎内科	腎臓内科部長	29年	
	医師	外科	外科部長	25年	
	医師	整形外科	整形外科部長	23年	
	医師	形成外科	形成外科部長	26年	
	医師	放射線科	放射線科部長	34年	
	医師	麻酔科	麻酔科部長	30年	
	医師	放射線科	健康管理センター長	40年	
	医師	循環器内科	内科部長	31年	
	医師	腎内科	内科医長	23年	
	医師	循環器内科	内科医長	21年	
	医師	整形外科	整形外科医長	20年	
	医師	放射線科	放射線科医長	27年	

[Redacted]	医師	放射線科	放射線科医長	25年
	臨床放射線技師	-	診療放射線技師長	34年
	薬剤師	-	薬剤科長	35年
	臨床検査技師	-	臨床検査技師長	33年
	理学療法士	-	リハビリテーション士長	34年
	管理栄養士	-	栄養管理主任	38年

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
大会議室	138.1㎡	プロジェクターシステム, 大型スクリーン, シャーカステン, 会議机, 会議椅子, シャーカステン, 心肺蘇生練習用ゲームマシン
講義室兼会議室	64.6㎡	プロジェクターシステム, 大型ホワイトボード, 簡易放送設備, 会議用机, 椅子, 講義台
管理棟会議室	39.7㎡	オンライン会議システム一式
図書室	53.6㎡	可動書架, 蔵書, デスク, 複写機, プリンタ, インターネットPC
検査室	270.6㎡	自動生化学分析装置, 自動血球分析装置, 全自動血糖測定装置, 全自動グリコヘモグロビン測定装置
内視鏡室・超音波検査室	147.6㎡	上部下部内視鏡, 気管支内視鏡, 超音波検査装置
放射線施設	500.1㎡	CT, MRI, ガンマカメラ, 血管造影装置, X線一般撮影装置

2021年度 地域医療従事者の資質向上を図るための研修会 開催実績

開催日	区分	表題	講師	対象者	参加者数	備考
2022/4/1～4/2	新型コロナウイルス 接種研修	新型コロナウイルスRNA7クワン(SARS-CoV-2) 『コナナティ』製剤について 新型コロナウイルスワクチン希釈・接種手順について	薬剤科長 副看護部長	医師・看護師・薬剤師	約200名	
2021/4/14	地域多職種交流研修会	体と頭を使ってレツエンジョイ	ケアマネージャー	包括支援センター職員	20名	
2021/7/1	宮崎県看護協会 教育研修会	知りたい！！感染対策に必要な基礎知識 ～基本の遵守が大切～	感染管理看護師	看護師	約200名	
2021/7/8	地域多職種交流研修会	ケアマネジメントの展開 ～看取りに関する事例～	ケアマネージャー	医療介護従事者	114名	オンライン
2021/8/22	地域多職種交流研修会	糖尿病療養指導士認定試験のための講習会 ～食事療法～	管理栄養士	看護師・管理栄養士 薬剤師・理学療法士 臨床検査技師	29名	オンライン
2021/10/21	地域多職種交流研修会	コロナを施設・在宅に持ち込まないために	副看護部長	医療介護従事者	12名	オンライン
2022/3/17	地域多職種交流研修会	誤嚥を防ぐ～施設でできることを教えます～	副看護部長	医療介護従事者	10施設	動画配信
毎週第三水曜日	整形外科科学研究会	三水会	整形外科医師	医師・看護師	毎回60名程度	オンライン

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 ██████████
管理担当者氏名	総務企画課長 ██████████

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		関係各部署	<ul style="list-style-type: none"> ・日誌類：年度毎に編綴保管 ・診療録：患者IDごとに電子的に保管 ・X線画像：患者IDごとに電子的に保管 ・処方箋：処方日ごと日別に編綴保管 ・その他：患者の診療に係る全ての記録は診療録（電子カルテ）に保管。電子カルテ導入以前の紙媒体の診療録はカルテ庫に患者IDごとに保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	放射線科 地域医療連携室	・時系列に共同利用毎に編綴保管
	救急医療の提供の実績	医事課	・各年度及び月別に編綴保管
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	・各開催日毎に編綴保管
	閲覧実績	総務企画課	・年度毎に編綴保管
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事課 地域医療連携室	<ul style="list-style-type: none"> ・時系列に編綴保管 ・診療に係る詳細内容は患者別に診療録に保管

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務部長 [REDACTED]
閲覧担当者氏名	総務企画課長 [REDACTED]
閲覧の求めに応じる場所	登録医師室
閲覧の手続の概要 ・ 所定の閲覧申込書に記入のうえ、閲覧責任者の許可を得て閲覧する。	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回（書面合議）	
委員会における議論の概要		
<p>1) 登録医登録の承認</p> <p>2) 令和4年度事業計画検討</p> <p>3) 令和2年度（下半期）・令和3年度（上半期）事業実施結果報告</p> <p>4) その他</p> <p>※別紙、委員会議事録のとおり。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、議場における委員会は開催することができず、電子メールで委員に意見収集等を行い、議論を進めるとともに、合議事項においては書面合議に替えた。</p>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他 ()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療福祉相談係長 医療福祉相談員 医事課長 経理係長 医療対話促進者(メディエーター)4名
患者相談件数	7,437 件

患者相談の概要

- 1) 受診・入院に関するもの
 - ・ 外来受診及び診療に係る心理的社会的問題に対する支援相談及び問題解決援助
 - ・ 入院及び診療に係る心理的社会的問題に対する支援相談及び問題解決援助
- 2) 一部負担金の支払等、経済的問題に関するもの
 - ・ 各種制度の利用に関する支援相談及び調整
 - ・ 診療費一部負担金支払に係る支援相談及び問題解決援助
- 3) 療養上の問題に関するもの
 - ・ 退院支援及び退院後の医療機関・施設等との連絡調整
 - ・ 紹介患者の受入に関する支援相談及び連絡調整
 - ・ 社会復帰に係る支援相談及び連絡調整
 - ・ セカンドオピニオンほか、地域医療機関等との調整に係る支援相談及び問題解決援助
- 4) その他
 - ・ 地域医療機関等との各種連絡調整ほか地域活動に関する支援相談及び調整等問題解決援助
 - ・ 各種苦情対応の対し、日本医療メディエーター協会認定医療対話促進者を配置し対応。
 - ・ 相談依頼を積極的に受入れるため、入院パンフレットに業務内容を記載し周知を図る。

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。